

事務事業名	広報紙発行事業			担当	総務部 情報政策課 広報広聴係		
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			増補版施策名		
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市広報紙発行規定						
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費		3. 広報費		
事業概要	「広報もおか」：毎月発行 A4版16P 自治会を通じて配布 行政情報などを市民にお知らせするため発行している広報紙 「市政こよみ」：毎月発行 B4版変形 自治会を通じて配布 主要行事予定等を掲載したカレンダー 「ウィークリーニュースもおか」：毎週金曜日発行 全戸配布 主に市民生活に必要な情報等を掲載 広報モニターや読者の声により読みやすい紙面づくりを行い、市のホームページにも掲載している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・広報もおか24,800部、市政こよみ24,500部を発行。シルバー人材センターに仕分け作業を委託し、自治会を通じて加入世帯に配布。 ・ウィークリーニュースもおかは真岡新聞の3,4面に掲載。オールポストア方式で全戸に配布。（発行部数30,200部） ・広報もおかをパソコンやスマートフォンで見ることができる電子書籍サイト（マイヒロ）に登録し、掲載を開始した。  31年度計画 ・世帯増に伴い発行部数を100部増やす。 ・ウィークリーニュースもおかについて、印刷業者の競争原理を働かせるため、印刷と配布業務を分割して発注する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民	ア	広報もおか、市政こよみ発行部数	部	24,500	24,500	24,700	24,800	24,900	
	イ	ウィークリーニュースもおか発行数	部	29,300	29,500	30,200	30,200	30,200	
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市の情報を知ってもらう。	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	真岡市の世帯数	世帯	28,379	28,217	28,756	29,253	29,734	
	イ								
	ウ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 市民参加による開かれた市政の推進	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	市の情報を知った市民の割合	%	80.8	82.7	81.7	79.6	82.0	
	イ								
	ウ								
(2) 総事業費の推移	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	広報紙等により市政に関する情報を得られていると感じている市民の割合	%	62.8	66.8	64.0	68.1	70.0	
	イ								
	ウ								
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
人件費	事業費計(A)	地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源			千円	24,183	24,265	24,234	24,157	27,089	
事業費計(A)			千円	24,183	24,265	24,234	24,157	27,089	
正規職員従事人数			人	5	5	5	5	5	
延べ業務時間			時間	4,800	4,800	4,845	4,940	4,940	
人件費計(B)			千円	20,112	19,934	20,107	20,595	20,595	
トータルコスト(A)+(B)			千円	44,295	44,199	44,341	44,752	47,684	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市の情報を市民に伝えるため
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	ホームページへの掲載により、インターネットで市の情報を知ることができるようになった。 平成14年4月から、「ウィークリーニュースもおか」を真岡新聞に掲載した。 平成18年度から、自治会未加入者のために市内金融機関に「広報もおか」と「市政こよみ」を配置するようになった。 平成21年度から、市内のコンビニエンスストアの一部に「ウィークリーニュースもおか」を配置した。 平成25年9月から、「ウィークリーニュースもおか」を全戸配布とした。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民から役に立つ情報が多いという意見が寄せられている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 積極的な情報公開を図り、市民の市政参加による開かれた市政を実現するため。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市の情報を提供している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 広報紙を市民に配布している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 週刊、月刊の発行をしているため、成果の向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市の情報が伝わらなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 広報紙発行のための最低限の事業費であり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 広報紙発行に必要な人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							